

放射線治療

Radiation therapy

放射線治療は化学療法・手術と並んで大切ながん治療法のひとつです。がんの根治だけでなく、骨転移による痛みの緩和など、がん治療のさまざまな局面で利用されています。集学的治療の一部として化学療法や手術前後に併用されることもあります。病巣を狙って体外から放射線を照射するため、他の治療法に比べれば侵襲性は低く、臓器の形態や機能の温存に優れます。放射線が体内を通過する経路では正常臓器も影響を受けますが、照射する範囲や方向・時間を工夫し副作用の軽減に努めています。放射線治療専門医1名、放射線治療専門技師・放射線治療品質管理士2名、がん放射線療法認定看護師1名の専門家チームで診療にあたり、キメ細かな医療技術・サービスを提供して参ります。



320列CT



放射線治療装置（リニアック）

化学療法

Chemotherapy

当館は、がん診療連携拠点病院の一翼を担い、抗がん剤を中心とした化学療法を専門的に行っています。患者さんの生活の質（QOL）を重視する観点から入院をしないで通院でがん治療を行う、外来化学療法の中核となるのが外来化学療法室で、標準化された抗がん剤治療を外来で安全に施行しています。現在、外来化学療法室は25床で運用しており、スタッフは臨床腫瘍科（腫瘍内科）医師、看護師、薬剤師、医療秘書等で対応しています。また、当院化学療法室の特徴として、臨床腫瘍科（腫瘍内科）外来を外来化学療法室内に設置して臨床腫瘍科医師が常駐し、外来化学療法のマネージメントを行っています。一方で、患者さんの必要に応じては、短期入院（一泊二日等）による化学療法にも取り組んでいます。また、がんゲノム医療にも積極的に取り組み、患者さんに寄り添いつつ諦めない治療を心掛けています。一方、早期の緩和ケアチームとの連携も推進しつつ、緩和ケアへの移行がスムーズに行くように配慮しています。安全で効果的な抗がん剤療法を実践するために、医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、事務による専門性の高いチーム医療の実践を目指し、全スタッフが一丸となり化学療法が円滑に行えるように日夜努力しています。



外来化学療法室

手術療法

Surgical treatment

がん治療において、手術療法はがんの種類や病期によっては根治を目指すことができる重要な治療法となります。従来の開腹・開胸手術に加え、腹腔鏡下あるいは胸腔鏡下手術へと、がん手術もより低侵襲な手術を選択することが多くなりました。また、好生館には手術用ロボット（ダヴィンチ）が導入されています。ダヴィンチを用いた手術では術野を3Dで立体的に捉えることが可能で、視野は10倍まで拡大できます。また、使用する鉗子は非常に緻密かつ自由に操作することが可能です。このため従来の開腹手術や腹腔鏡手術と比べて、より精密な手術が可能となりました。好生館でのロボット支援手術は泌尿器科での前立腺全摘除術のみならず、消化器外科での胃切除術、大腸・直腸手術、産婦人科での子宮全摘術、呼吸器外科での肺切除術、肝胆膵外科での肝切除にまで行うようになってきています。今後も、手術の適応を十分考慮した上での安心安全ながん手術を第一に考え、集学的治療の中でも重要な位置を占める手術療法をがんセンターとしても推進していきます。



ダヴィンチ



SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN SINCE 1834



地方独立行政法人
佐賀県医療センター 好生館
SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN
SINCE 1834

がんセンターミーティングメンバー

がんセンターは好生館のがん診療を横断的に統括する組織として活動しています。がんの予防、診断、登録から治療、緩和ケアに至るまでのトータルケアを、がんに係るすべての専門職によるチーム医療で集学的がん治療を実施しています。

がんセンター

Cancer Center



- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本病院薬剤師会がん薬物認定薬剤師研修施設
- 日本臨床腫瘍学会研修施設
- 日本乳癌学会認定施設
- 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診画像認定施設
- 日本小児血液・がん学会専門医研修施設
- その他各臓器がん・各職種別学会認定施設



地方独立行政法人
佐賀県医療センター 好生館

〒840-8571 佐賀県嘉瀬町大字中原400番地

TEL0952-24-2171 (代) FAX0952-29-9390

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.koseikan.jp/>

好生館

検索



がんセンター Cancer Center



がんセンター長
北原 賢二

佐賀県は全国でもがん死亡率の高い県として不名誉な状況にあります。その不本意な状況を少しでも改善すべく、好生館がんセンターは設立されました。

好生館がんセンターはがん診療を横断的に統括する組織として活動しており、当センターの組織は図に示す5部門(放射線治療部門、化学療法部門、相談支援・地域連携部門、臨床試験・研究部門、がん登録部門)を有し、かつ「緩和ケアセンター」、「プレストセンター」を併設しています。これらの部門・センターが各臓器別がん診療科との連携を深めることで、がんの予防・診断・登録・治療・緩和ケアに至るまでの質の高い集学的がん治療を、多彩な専門職の揺るぎない協力によって実践していくことを目指しています。

現在、がん患者・家族支援のための各種啓蒙活動・相談事業および各種臨床試験、がん登録などが日常診療と連携しつつ進められています。臨床においては手術支援ロボット、新規分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬などの最先端医療も取り入れながら県民に誇れるがんの治療を追求する一方で、当然受けるべきがん治療が過不足なく行われているかどうか(あるいは治療の選択肢として十分提示されているかどうか)のチェック機構としてもがんセンターの大きな役割があります。なお、好生館は地域がん診療拠点病院に認定されており、がん医療の更なる充実に努める責務を担っています。

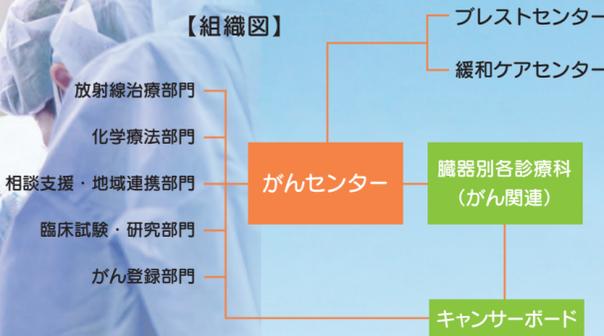
新型コロナウイルス問題で世界の医療界はこれまでにない危機に瀕しています。それに伴い、住民がん検診受診者数の大幅減により、一定数の未発見がんが生じていることは避けられず、今後は、より進行した状態でがんが見つかる比率が高くなり、数年先のがん死亡率の増加も危惧される由々しき状況にあります。近未来のがん死亡率の上昇を阻止するためにも、がん検診の啓蒙活動はがんセンターとしては不可欠と考えています。

がん患者さん(そのご家族も含め)にはこれまで同様の適切な医療を提供できるように努め、より良い生活を過ごしていただけるように、行政・地域医療機関・各種施設・患者会等とも密に連携し、弛まぬ支援を好生館がんセンターは行っていきます。

「がんセンター」の連携概念図



チーム医療によるがん診療の 安全と質の向上を目指して

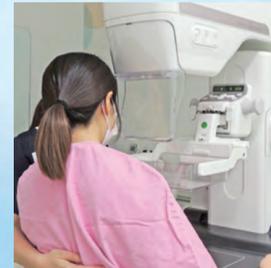


プレストセンター

当館には乳腺専門医、形成外科専門医等の医療者が多数在籍しており「豊富な人材・医療資源」を誇っています。これら乳がん診療に関わる各科が横断的に協力して「チーム医療」をより強く展開し、より高度で最適な医療を提供するため平成26年8月好生館プレストセンターは開設されました。これまでの乳がん治療(手術、薬物治療、放射線等)のほか、認定看護師による、手術・抗がん剤治療・副作用等の不安や対策のご相談等々「乳房(プレスト)」の「トータルケア」を行っています。乳房に関して気になることがあれば、お気軽に受診・ご相談ください。



乳腺内視鏡手術



マンモグラフィ装置

がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、がんが疑われるときや治療中の患者さんが抱える疑問や不安・困りごとに対し、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)が状況を整理し、必要な情報を集めるためにお手伝いします。

- 例えば
- ・他に治療があるか別の病院の先生に意見を聞いてみたい。
 - ・仕事を続けながら治療したいが職場へどのように相談したらいい?
 - ・治療費が高いため利用できる制度はない?

このように様々な相談に対して、共に考え、患者さんやご家族が自己決定できるよう支援していきます。情報コーナーもありますので、お気軽にご相談ください。



また、以下のように患者会の開催や相談窓口も設置しています。

患者会
なごみの会(患者会) 毎月第4月曜日 14:00~16:00

専門相談窓口
・ハローワークの定期相談 毎週木曜日 10:00~15:00
・佐賀産業保健総合支援センター 毎月第3火曜日 11:00~14:00
・アピアランスケア相談会(医療用ウィッグ) 毎月第4水曜日 14:00~15:30
(状況により日時が変更になることがありますのでお問い合わせください)

お問い合わせ
がん相談支援センター
受付時間:平日月~金 8:30~17:15
電話番号:0952-28-1210
FAX:0952-28-1250
Eメール:gansoudan1@koseikan.jp
・匿名で利用でき、主に面談または電話やメールで相談できます。
・相談内容は同意なく他人に知られることはありません。

がん登録

※がん登録情報は、患者様の診療情報を収集・管理するため、個人情報 の安全管理措置対策に則して、入室制限かつ独立した登録室において細心の注意を払って行っています。

【院内がん登録】

「院内がん登録」とは、病院で初めて診断や治療を受けたすべての患者さんのがんについての情報(がんの部位、組織型、進行度、治療内容、予後等)を収集・登録し集計・分析を行う仕組みです。当院では2002年7月から「院内がん登録」を実施しており、収集した情報は、病院内でのがん診療の実態を把握し、特徴を明らかにするための情報として活用されます。また、国立がん研究センターでの全国集計、佐賀県がん登録事業(全国がん登録)へ提供することで、佐賀県・国でのがん対策に寄与するほか、がん診療の質の向上やがん患者さんならびにご家族への支援等に役立っています。

【全国がん登録】

「全国がん登録」とは、日本でがんと診断されたすべての人のデータを国で一つにまとめて集計・分析・管理する仕組みです。がん登録等の推進に関する法律(がん登録推進法)の成立により、2016年1月より「全国がん登録」が開始されました。この制度により居住地にかかわらず全国各地この医療機関で診断を受けても、がんと診断された人のデータは各都道府県に設置された「がん登録室」を通じて集められ、国のデータベースで一元管理されます。当院は、佐賀県からの委託を受け「佐賀県がん登録室」として県内のがん罹患情報を医療機関から収集し登録を行っています。

Brest Center

緩和ケアセンター

Palliative care Center

緩和ケアセンターは一般病棟と院外での活動を行う「緩和ケアチーム」と、ホスピスである「緩和ケア病棟」からなります。「緩和ケアチーム」は、がんの診断時からのサポートを目指しています。認定資格を有する看護師と身体症状を担当する医師(緩和ケア科、麻酔科等)、精神・心理的症状を担当する医師(精神科)と臨床心理士、MSWなどの他職種で構成されており、それぞれの専門分野からのサポートを行います。がんに限らずその他の病気による苦痛の緩和にもお手伝いさせていただきます。「緩和ケア病棟」ではホスピスとして人生の大切な時間を安心して苦痛無く有意義に過ごして頂く目的の他、臨床研究、研修や教育にも力を入れております。また、中学生や社会人に対する「生と死の教育」や、在宅医療や他の医療施設との連携も重要な役割です。好生館で、検査や治療を安心して受けていただくことが出来るように、お手伝いしたいと思います。



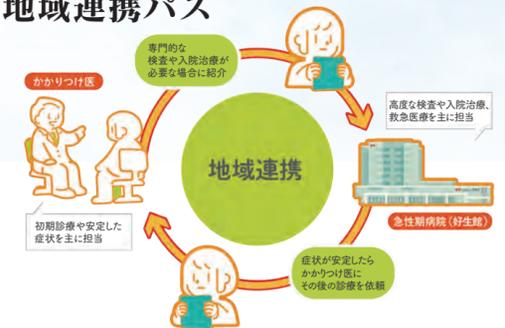
臨床試験・研究部門

近年の医療のめまぐるしい進歩とそれに伴う社会の変化には、研究・教育・地域連携を含めた総合的な対応が必要です。臨床試験推進部は『好生館総合臨床研究所』の一部門として、臨床研究の中でも、特定臨床研究や治験を中心に、これらを支援・推進していきます。臨床試験推進部(治験担当部署)は、患者さんが安心して治験に参加いただけるよう、『治験コーディネーター業務』をはじめ、『治験事務局』、『治験審査委員会事務局』等の業務を担当していますが、院内他部門のスタッフと緊密な連携のもと、院内の臨床試験業務を積極的に支援していきます。次々と新たな分子標的治療薬、免疫抑制剤などが開発され登場する一方、一人一人の患者さんのがんゲノム情報に基づいた個別化療法なども求められてきています。臨床試験推進部はこのような新規薬剤の承認を得るための治験や、承認後薬剤の適切な使用方法を検討する医師主導臨床試験のサポートを行う部門です。

また、『好生館総合臨床研究所』には、がんゲノム医療にも積極的に貢献すべく疾患ゲノム研究部も併設しており、がんセンターや各診療科と連携し、がんゲノム医療を推進していきます。



がん地域連携パス



がん地域連携パスは、患者さんに安心して質の高い医療を提供するためかかりつけ医(診療所等)と専門医が患者さんの治療経過を共有するためのツールとして活用されることを目的としています。対象疾患は胃がん、大腸がん、食道がん、肺がん、肝がん、乳がん、前立腺がんであり、佐賀県内統一の様式として診療計画書や経過連絡票で構成されています。がん患者さんに地域で安心して過ごしていただくために活用のご協力をよろしくお願い申し上げます。